

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度 第2回生涯学習推進センター運営協議会
開 催 日 時	平成26年3月3日(月)午後7時~8時
開 催 場 所	所沢市生涯学習推進センター 学習室203
出 席 者 の 氏 名	鎌滝紀和、古敷谷千賀子、清水仁一、須賀聡、 宮本八恵子、山田英徳
欠 席 者 の 氏 名	安藤聡彦、榎田二三子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	なし
議 題	(1)生涯学習推進センターの主催事業・運営の総括と方向性について
会 議 資 料	・修正前 提言(案)「生涯学習推進センター事業の見直しと新たな方向性」 ・修正後 提言(案)「生涯学習推進センター事業の見直しと新たな方向性」
担 当 部 課 名	教育総務部生涯学習推進センター 教育長・内藤隆行、所長・比留間嘉浩、副主幹・佐々木葉子 副主幹・糟谷実、主査・倉持美樹、主査・伊藤利裕、主任・山本一人 電話 04(2991)0303

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>所長の司会により開会し、教育長が挨拶をした。（ 19 : 00 ）</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>生涯学習推進センターは、人材、教育臨床、ふるさと研究の3つのエリアで構成され、ふるさと研究エリアは、所沢の自然や産業や文化を再発見するために博物館活動を担う人的な資源を作っていくところとして位置づけています。また、事業を行いながら市民学芸員を育成する場所となっています。</p> <p>一方、市民大学においては、提言に書かれている事業内容で講座が生まれ、この2つを中心に生涯学習推進センターは運営されています。このような運営に関してご意見をいただく機関として生涯学習推進センター運営協議会が設置されています。今回3月議会におきまして、生涯学習推進センター運営協議会について条例による設置を議案として提出しております。役所の位置づけとしては、議会の議決を経ないと閉じることも大きな変更もすることが出来ませんので、この運営協議会の役割や社会的な責任は、高くなっています。内容は変わることはありませんが、私どももそうした意気込みを持って望んでいます。所沢市の生涯学習政策の基点であるこの生涯学習推進センターの自主事業を充実させなければなりません。今日は限られた時間ではありますが、学んだ学習成果をどう生かすか、資格を取ってどう生かすか、動機付けをどう支援していくか、あるいは、人材バンクの交流や活動をどう生かすか、また、市民学芸員の自身の研究テーマや活動をどう支援していくかなど、具体的なことを模索していかなければならない内容を提言していただければと思います。私どもとしては、この提言を受けて平成26年度以降の政策に結び付けて具現化をしていきたいと思っています。私どもの悲願であります生涯学習の充実に向けまして、さらに役立てていきたいと思っています。開所当初からのご意見をいただければありがたいです。今日はよろしく申し上げます。</p>
会長	<p>会長のあいさつ</p> <p>皆さんの真摯な意見を伺って、これだけの提言案がまとまった事は大変喜ばしいことです。委員の方々の意見を入れて直した提言案となっていますのでその辺を検討していただき、本日まとめたいと思っています。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>本日の議長は、運営協議会設置要綱第6条に基づき会長に議長をお願いし協議に入る。</p> <p>傍聴の方はいませんか。</p>

事務局	おりません。
議長	第2回所沢市生涯学習推進センターの運営協議会を開催いたします。事務局で説明をお願いします。
事務局	<p>昨年11月26日開催の平成25年度第1回推進センター運営協議会で協議した提言素案に委員の方々と郵送でやり取りして、いただいたご意見を会長と事務局により取りまとめましたものが、資料の提言案「修正後」になります。修正前のもの合わせて送付させていただきましたので両者見比べていただければと思います。</p> <p>修正や加筆、削除してある部分は網掛けと下線で示されています。句読点や文言についての説明や整備が大半ですが、修正変更した点につきましてかいつまんでご説明申し上げます。</p> <p>4頁、2の仕組み形の中で、2-1（現状）「近隣大学と連携し」の前に、2頁のはじめ（はじめに）の中で「市内近隣大学」となっていますので、これに合わせて「市内」を加えました。</p> <p>仕組み系の2-2現状の中で「人材バンクフェアを実施した」というところですが、4頁の下から9行目、「人材バンクを実施した」の前に「フェアの目的である広く市民に周知をする」という文言を追加しました。</p> <p>仕組み系2-2課題5頁13行目、「特化した人について、地域には地形、土壌、植生、伝統的な農業慣行など自然環境や生業について優れた知識と技術を有する方々がいる」と説明を加え文言を入れ替えました。</p> <p>7頁4事業の新たな方向性4-3、産学官民の連携で民との連携として「マネジメントのための学習講座やNPOとの連携の必要性」を追加し、次に「民との連携においては市民グループやNPOなどの立ち上げとそのマネジメントのための学習講座の実施などにより、学習をまちづくり、地域づくりに繋げて行く為の支援をNPOなどと行政各課が連携して進めていく必要がある」と追加しました。これは4-1市民との共同に加えてはいかがというご意見もありましたが、協議をしまして4-3の方に追加しました。</p> <p>8頁概念図、「近隣大学」に市内を加え「市内近隣大学」としました。また、ボランティア人材バンクの課題の5頁に記載されている内容の「市内の技術保持者」を新たに概念図の中に加えました。以上です。</p>
議長	大きく直させていただいた点を説明しましたが、これについてご意見がありましたらお願いします。

委員	<p>3頁課題 講座事業系市民大OBのところで「2つの大きな事業体が相互に関連を持たせる」という部分を「2つの大きな事業体に相互の関連を持たせる」あるいは「持たせ」を「持ち」に直すと良いと思います。</p> <p>4頁仕組み系2-1課題、ほかは「市民」になっているがここだけは「住民」となっているので合わせたほうが良い。</p> <p>5頁2-2課題、「地域には地形、土壌、植生、伝統的な農業慣行など自然環境や生業について優れた知識と技術を有する方々がいる」ところで「人前で話したり教えたりすることにも不慣れな人も」とありますが「教えたりすることに不慣れな人も」と修正したほうがいい。</p> <p>7頁4新たな事業の方向性の提言、5-1市民との共同上から7行目のところで「市が見据える生涯学習の全体像を市民に提示することでは」にした方が良い。</p> <p>4-2人材の活用2行目、「修了者という貴重な人材の力」という部分の「修了者という人材の力」の方が良いと思います。</p> <p>4-3産学官民の連携下から3行目、「大学の連携においてはこうです。」「民との連携においてはこうです。」と説明されているので「次に」はいらなと思います。</p> <p>8頁4-4職員の専門力、「そのようにして」という部分を「推進センターは」として「推進センターは市民の人材バンクとして人材を育てる一方で」の「で」を取り「その一方、テーマに応じては専門家を依頼するなど」に変えたほうが良い。</p> <p>9頁、「この提言は、生涯学習推進センターにおける」とありますが、1頁目に「生涯学習推進センター（以下推進センターとする）」とあるので、ここも「推進センター」で良いと思います。</p> <p>6頁3-2企画展示の現状とこれからの課題、「市民学芸員に任せるためには」とありますが「任せる」に違和感があるので、任せるのではなく育てるのですから「市民学芸員と協働で実施するためには」、または、「共に協働して企画展を実施するためには」という表現に変えた方がいように思えました。教育長の話の中にもありましたように、ふるさと研究は、博物館相当の研究機関でもありますから、市民学芸員を育てるスタッフそのものの資質向上も同時に必要であることも付け加え、市民学芸員と協働するためにはという言い方のほうがいい。</p>
教育長	<p>協働の視点の方が、専門スタッフと市民スタッフが共に育っていくという感じがします。</p>

委員	<p>市民学芸員が主体性を持って、事業を企画推進していくためには、市民学芸員がばらばらではなく組織化されることで、お手伝いという域を超えることが出来ます。NPO、研究グループ、教育アシスタントグループ、ボランティアグループなどの組織を構成する方法でグループとしての主体性のある参加が出来るのではないかと思います。そうすれば、推進センターの職員と市民学芸員が協働していける体制が出来ると思います。</p>
委員	<p>市民学芸員の主体性や発信力を育てることにより、市民学芸員自身が企画、展示、発信を行えるようになっていきますので、その方向付けをしていくことがいい。</p>
委員	<p>今回、市民学芸員の養成講座を3年間行っていますが、素晴らしい方がたくさんおります。このような方々をグループ化、組織化できれば、その中で議論した企画を提案できるのではないかと思います。学んだ方をただ、放っておくと「博物館の話は面白かった」で終わってしまいますが、企画展や教育活動などグループを生み出すような仕掛けを推進センター側が提示してあげるといい。こうしたことを、うまく表現して文言に含めていただければと思います。</p>
委員	<p>「市民学芸員が主体性を持って企画展等の事業に取り組んでいくためには」という表現が良いのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>市民学芸員の主体的な組織化をどのように実現出来るか。既存のNPOに全部任せるわけには行きませんし、集団結社のようになっても困ります。</p>
委員	<p>推進センターでは、計画に従って企画展の予算化をします。職員が担当する企画展にプラスして、市民が主体性を持った企画展が出来ないか、そのためには、市民学芸員の資格を取った方々で、「研究会や企画会をやりませんか」とアドバイスし組織化を促すことが必要です。こうした手助けがあれば、自分たちで出来るのではないかと前向きになると思います。企画展が難しければ、敷居が高くない教育活動として、「ちょっとした勉強会でも開きませんか」と提案することもよいと思います。</p>
事務局	<p>市民学芸員の皆さんへは、年に何回かの交流会と事業のご案内をしています。1月11日に交流会を開いた時に、自分たちの勉強会を開いてみたいとの相談がありましたので、交流会で「勉強会をやりませんか」と投げかけをしました。何かのテーマを決めて分科会として、研究グループを作りたいということに関しては、まだ先頭に立って動かしていこうという方はいませんでした</p>

	<p>が、所沢の博物館のこれまでの経緯などを勉強したいという集まりは動き始めたところです。市民学芸員の皆さんには、今回の推進センター運営協議会会議において、主体性を持って企画、発信が出来るような組織化が、提言として期待されているということを伝えていきたいと思います。</p>
委員	<p>事業そのものに興味関心を持ってもらえるようなグループや組織を育てていくということです。</p>
委員	<p>「市民学芸員が主体性を持って企画展等の事業に取り組むためには、勉強会や検討会などのグループ活動を通して何らかの組織化を検討することも必要であろう」のような感じでよいのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>実践を通して環境を作っていくといい。動き出すと学校などで活動できます。</p>
委員	<p>既存のサークルと市民学芸員の活動が対抗しあうのではなくて、巻き込み合いながら活動していくことが好ましいです。既存のサークルと市民学芸員とのコラボは難しい課題でもあります。推進センター側が慎重に既存のサークルと市民学芸員を結びつけるといい。 今、何か参画されていますか。</p>
事務局	<p>市民学芸員として活動されている方の中で、公民館でサークル活動をされている方が、公民館のサークルと市民学芸員の方々を巻き込んで活動の輪を広げています。市民学芸員になる方の中には、他のサークル活動を行っている方がいるので助かっています。</p>
議長	<p>まず、文言の訂正がありまして、ふるさと事業系の話しがありました。他の分野でもご意見がありますか。</p>
委員	<p>7頁市民大学の活動についてですが、修了生が2,500人、市民学芸員が60人巣立っていて、市民大学だけでも、毎年80名の方々を輩出しています。数多くの人に学べる場を設定しているということも強調した方がいい。</p>
委員	<p>9頁下から3～4行目、「関係機関、関係団体の連携のもと、生涯学習施設となることを期待したいと思う」とありますが、いくら良い事業をしていても利用率を上げるためには、情報を発信しなければなりません。利用してもらうためには、様々な関係施設と連携を持って、情報発信を行い生涯学習施設のプ</p>

	<p>口施設になるとよいと思うので情報発信が大切です。</p>
委員	<p>推進センターが情報発信の中心機関になるように、様々な事業やイベント、活動の情報が推進センターから発信され、推進センターに来れば情報を得ることも出来る、情報発信と集積を兼ねた施設とすることも付け加えて欲しい。</p>
委員	<p>推進センターは良いところなので、来ていただくためにはよい方法です。</p>
委員	<p>情報発信の具体的な方法として、ふるさと研究においては、展示系の企画は意外な発信力があります。また、広報誌によっても発信できます。様々な発信の仕方があるので、例えば、展示は、推進センターだけでなく、市内を巡回し、様々な場所で開催することで情報発信が強化される。市民がこの展示を企画したことを知れば、興味を持たれる方が参加しやすくなるかもしれません。こうした例となる項目があれば付け加えられるといい。</p>
事務局	<p>今のお話は、6頁課題3-1 「積極的に周知をしていくこと」にあげられますが、市民学芸員の方々も巻き込んで実現できればと考えているところです。</p>
委員	<p>決まった予算の中では、いきなりは無理でしょうが、杉並区では町の博物館というものがあり、町の中のちょっとした画廊などで、「街角博物館」を実施しています。町の中のちょっとした場所を無料で貸して下さるところを見つけ、そこで展示会を開くのもいいと思います。野田市では、お店をされている方が昔のお菓子作りに使った道具を店の前で展示したりしています。推進センターが「なぜこういう活動をし、なぜこういう成果が上がっているのか、具体的にはこれです」と街角に出て活動を広げて行くことで、推進センターの重要性を認識してもらえenと思います。</p>
委員	<p>情報発信で、生涯学習情報紙「翔びたつひろば」がありますが、この情報誌の書き方は決まっていますか？</p>
所長	<p>掲載しなくてはいけないもの、日時や場所など皆さんに周知するものは決まっています。</p>
委員	<p>デザイナーは雇っていますか。</p>
所長	<p>職員が構成デザインをしています。</p>

委員	<p>読んでいただく方の立場になって、紙面を構成しなければ読んでもらえないということを自分たちが発行している広報紙の研修で学びました。もし、予算があればプロの方に構成デザインを委託することも情報発信の方法です。</p>
所長	<p>構成デザインを、プロの方に任せた方がよいのですが、予算が限られているので職員が努力して、読みやすく見やすい情報紙を作っています。</p> <p>市民学芸員の講座などの募集は、1面に載せて市民にアピールしていますので、ふるさと研究や事業グループの講座の募集は、定員の倍以上の応募があります。</p>
議長	<p>もう少しだけ議論しますか。</p>
所長	<p>委員の皆様の方で、今回の修正後の提言案でよろしければ、今、ご意見をいただいたところを修正しまして、提言としてまとめさせていただければと思います。</p>
議長	<p>よろしいと思います。今回も意見が出ましたので、修正後の新たな提言案を回して直しをしていただくか、どうしますか。</p>
委員	<p>自分で直しをしたものは手元にあるので、最終修正案の新しいものだけを送ってくださり最終確認という形でお願いします。</p>
副会長	<p>事務局はどうですか。</p>
所長	<p>修正したものを提言としてまとめさせていただきます。</p> <p>< 委員承認 ></p>
議長	<p>その後の予定を事務局でお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より今後の予定について説明</p> <p>今日、委員の方々からいただきましたご意見をもう一度、まとめさせていただいたものを、郵送させていただきますご確認が得られた段階で、後日にはなりますが、教育委員会へ正副会長から提言をしていただきます。</p>

副会長	<p>副会長の閉会のことば</p> <p>大変熱心にご協議いただき、また、活発なご意見をいただきました。</p> <p>以上で、第2回目の運営協議会を終了したいと思います。(20:00)</p>
-----	---